

重点目標一覧表

【令和元年度重点目標】

【令和2年度重点目標】

担当部局名	教育委員会事務局
-------	----------

重点目標	「上田市教育支援プラン」の推進	重点目標	「上田市教育支援プラン」の推進	
	具体的な重点取組項目(簡条書き)		具体的な重点取組項目(簡条書き)	
1	重点目標 「上田市教育支援プラン」の推進 ①学力の定着・向上 (1)「わかる授業」につなげる授業改善 ①ユニバーサルデザインの推進 ②学力向上委員会の運営方法見直しと充実 (2)生活・学習ノート「紡ぐ」の有効活用と次年度への準備 ②いじめ・不登校など悩みを抱える児童生徒への支援 (1)「SOSの出し方に関する教育」の推進 (2)スクールソーシャルワーカーによる支援強化 ③教員のICT活用指導力の向上 (1)小中学校の各1校に教員用のタブレットPCを整備する (2)タブレットPCの活用方法、運用方法を調査研究 ④放課後児童対策の充実 (1)学童保育所太郎の家新築 (2)適正な利用児童数を維持するための施設整備 ⑤教員の働き方改革の推進 (1)教員の勤務時間の把握と適正化 ⑥食育の推進・充実に向けた環境の整備 (1)一部変更した「今後の学校給食運営方針」の市民への説明・周知 (2)新しい学校給食施設建設用地の検討・選定 (3)「今後の学校給食運営方針」(変更後)を踏まえた新しい学校給食施設に係る整備計画の作成 ⑦小中学校のあり方の検討 (1)「上田市小中学校のあり方検討委員会」による小中学校のあり方に関する基本方針の策定	達成状況・達成度 ① (1)「わかる授業」につなげる授業改善 ①長野大学と塩田地区4小中学校が授業改善に取り組み、成果を全小中学校に発信 ②県外視察や講演会を見直し、教員同士の授業を語る会を3回実施 ② (1)実施1校 (2)小中学校30校を訪問 ③ (1)機器の高騰により中学校の整備が計画より遅れ、操作研修が十分にできなかった。 (2)活用方法を研究する中で、児童生徒にも機器を整備したほうが効果的な授業が組まれるのではないかと意見が多くあり、次年度は晋平小中学校に児童生徒用機器を整備し効果的な授業の研究を実施する。 ④(1)令和2年2月28日竣工 (2)8館のスペース拡充等を図り、定員を241人増加 ⑤ (1)R元年度12月時点、45時間未満:13校 45時間超:23校 ⑥(1)市民説明会(2会場)・保護者説明会(2校)を開催した。 (2)建設候補地を選定し、地元説明会、農振除外申請、不動産鑑定及び用地測量等を実施した。 (3)施設的设计を進める上での基本的な考え方をまとめた施設整備計画を作成した。 ⑦(1)今年度中の基本方針の策定を目指し検討委員会を6回(昨年度から合計8回)開催し検討を進めたが、策定までには至らなかった。現在、素案の作成に向けた検討を進めており、来年度に基本方針を策定したい。	重点目標 「上田市教育支援プラン」の推進 ①学力の定着・向上 (1)「わかる授業」につなげる授業改善 ①長野大学と塩田地区4小中学校が授業改善に取り組み、成果を全小中学校に発信 ②教員同士の授業を語る会を実施 (2)MIMの活用による「読み」の向上 ②いじめ・不登校など悩みを抱える児童生徒への支援 (1)「SOSの出し方に関する教育」の推進 (2)相談体制の整備による支援の強化 ③教員のICT活用指導力の向上 (1)晋平小中学校に児童生徒用のタブレットPCの整備 (2)タブレットPCの活用方法、運用方法の調査研究 ④放課後児童対策の充実 (1)特定天井耐震化事業 神科児童センター天井改修工事 (2)適正な利用児童数を維持するための施設整備 ⑤教員の働き方改革の推進 (1)教員の勤務時間の把握と適正化 (2)統合型校務支援システムの導入(中学校) ⑥学校給食施設の計画的な整備 (1)第二学校給食センター改築事業基本・実施設計 (2)第二学校給食センター建設予定地の用地取得 (3)学校給食における食物アレルギー対応の検討 ⑦小中学校のあり方の検討 (1)「上田市小中学校のあり方検討委員会」による小中学校のあり方に関する基本方針の策定	期限・数値目標等 ① (1)「授業がわかる」と回答する児童生徒の割合を前年度比1%増を目指す ①実践報告を市内4小中学校が行い、市内全校に広報 ②自校の取組や課題を自由討論する場を年3回開催 (2)通常の学級において、学力の基礎となる「読み」の向上 ② (1)市内3中学校での実施 (2)相談所、ふれあい教室及び特別支援の連携強化 ③ (1)無線Wifi環境の整備と児童生徒用にタブレットPC整備 (2)タブレットPCを使用した授業の進め方の研究と、管理運用等に関する調査を行う ④ (1)令和2年10月竣工予定 (2)スペース拡充等により7館の定員増を確保 ⑤ (1)各学校の平均時間外勤務時間が月45時間以下を目指す (2)4月からの導入による時間外勤務の縮減 ⑥ (1)業者選定及び基本・実施設計を行う。 (2)建設予定地の用地買収を行う。 (3)「上田市食物アレルギー対応検討委員会」を設置し、学校給食における食物アレルギー対応に関する基本方針を策定する。 ⑦ (1)小中学校のあり方に関する基本方針を策定する。
2	重点目標 安全・安心な教育環境の整備 ①市内小中学校への空調機器設置 ②第五中学校改築事業(耐力度調査業務) ③上田市学校施設長寿命化計画[個別施設計画](素案)の作成 ④学校施設の適正な営繕の実施	達成状況・達成度 ①2学期始業時点ですべての空調機器の稼働を開始した。 ②当初計画どおり、年度内に耐力度調査業務が完了した。 ③当初計画どおり、長寿命化計画(素案)を作成した。 ④必要な営繕について、すべての業務を実施することができた。	重点目標 安全・安心な教育環境の整備 ①第五中学校改築事業(配置計画・基本設計) ②上田市学校施設長寿命化計画[個別施設計画]の策定 ③学校施設の適正な営繕の実施	期限・数値目標等 ①4月～3月 ②4月～3月 ③通年
3	重点目標 文化遺産の保護・継承・活用 ①「上田市文化財保活用地域計画」の策定に向けた取組 ②史跡等整備の推進と文化財の活用 (1)史跡等の保存と整備 (2)文化財の積極的な活用(文化財de文化祭・日本遺産) ③史跡上田城跡整備事業の推進 ④郷土の歴史、文化、先人・偉人の業績等を知る機会の創出 (1)郷土ゆかりの先人・偉人の顕彰事業 (2)郷土の歴史、文化、人物等をテーマとした展覧会や講座等の開催	達成状況・達成度 ①歴史文化基本構想住民説明会を市内8公民館で実施 ②(1)信濃国分寺跡の公有化は所有者の意向変化で断念 (2)文化財de文化祭を指定文化財で開催2回 日本遺産は1月に認定申請書を文化庁に提出 ③専門家会議委員選定完了、内諾を得たが会議は延期 ④ (1)人物紹介パネル作成完了(50人) 「ふるさと信州上田先人館」準備 (2)博物館・資料館で企画展6回、講座・教室等31回開催	重点目標 文化遺産の保存・継承・活用 ①「上田市文化財保活用地域計画」の策定に向けた取組 (1)計画案の作成 (2)策定委員会の開催 ②文化財の保存と活用 (1)文化財の指定・登録の推進 (2)文化財の積極的な活用(文化財de文化祭・日本遺産) (3)全国山城サミットの開催 ③史跡上田城跡整備事業の推進 ④郷土の歴史、文化、先人・偉人の業績等を知る機会の創出 (1)郷土ゆかりの先人・偉人の顕彰事業 (2)郷土の歴史、文化、人物等をテーマとした展覧会や講座等の開催 (3)発掘した文化財等の活用	期限・数値目標等 ① (1)コンサルタント業者と契約、計画案の作成 (2)2月 計画案の作成と委員会の開催 ②(1)5月～3月 文化財の指定・登録(3件以上) (2)7月・11月 文化財de文化祭 2回開催 日本遺産:(認定)推進協議会の立上げ。ストーリー情報発信 (3)10月～11月 全国山城サミットの開催 ③4月～3月 会議を1回以上開催 ④ (1)5～3月「ふるさと信州上田先人館」開館・展示 (2)4月～3月 市立博物館及び信濃国分寺資料館における企画展の開催(6回以上)、体験教室、講座等の開催(30回以上) (3)4月～2月 博物館等と連携し展示
4	重点目標 生涯学習の推進と学習環境の整備 ①地域とともにある学校づくりの充実 (1)広報活動として、ホームページの整備などを実施 (2)コーディネーター等のスキルアップ研修会と情報交換会の実施 ②人権同和教育・啓発の推進 ③青少年の健やかな成長を支援する取組 ④公民館事業の充実 (1)人生100年時代に向けたシニア世代の学びの拡充 (2)地域の資源生かし子どもたちの自然体験・社会体験の機会を提供と充実 (3)公民館事業の情報発信の拡充 ⑤図書館サービスの充実 (1)「上田市子ども読書活動推進計画」の見直し (2)職員の資質向上 (3)貴重資料などの整備	達成状況・達成度 ① (1)改正したボランティアハンドブックとリーフレットをHPに掲載 (2)県主催研修に参加。研修会1回、情報交換会1回を実施 (3)人権啓発団体が行う啓発事業の実施(参加者2,976人) ③自然体験活動4回、小中学生137人参加。啓発印刷物16,500部 ④ (1)各公民館における高齢者向けの講座や事業内容を充実させ実施 (2)夏休みの子ども達の居場所づくりを回りながら、子ども向けの講座・イベントを開催 (3)職員を対象とした研修会の開催や、SNSによる情報発信の強化 ⑤ (1)市内4図書館の現状と課題を検証(諮問には至らなかった) (2)各研修会参加後、研修報告を行い情報の共有化 (3)各館ごと計画に沿って資料を整理	重点目標 生涯学習の推進と学習環境の整備 ①上田自由大学運動等の顕彰による生涯学習推進 ②地域とともにある学校づくりの充実 (1)市ホームページの充実で「活動の見える化」を推進 (2)コーディネーター等のスキルアップ研修会と交流会(情報交換会)の実施 ③人権同和教育・啓発の推進 ④青少年の健やかな成長を支援する取組 ⑤公民館事業の充実 (1)「人生100年時代」に対応したシニア世代の学び場の提供 (2)地域資源(自然、歴史、人等)を生かした、青少年向け自然・社会体験の機会と学習の場の充実 (3)公民館事業の情報発信の強化 ⑥図書館サービスの充実 (1)「上田市子ども読書活動推進計画」の見直し (2)職員の資質向上 (3)貴重資料などの整備	期限・数値目標等 ①2021年シンポジウム準備委員会開催(2回以上) ② (1)HPの充実(各校の特徴的取組などを紹介) (2)研修会・交流会等の実施(各1回) ③各種人権啓発団体が行う啓発事業の実施(4回) ④自然体験活動6回。啓発印刷物17,000部、学習会3回 ⑤ (1)各館の高齢者向け事業の充実 (2)各館の青少年向け事業の拡充 (3)公民館だよりとHPに関する職員研修会の開催(2回)及びSNSによる情報発信の強化(6館以上) ⑥ (1)計画を立案し、3月までに図書館協議会へ諮問 (2)各種研修会への参加と情報の共有 (3)未整理資料の目録作成と資料登録
5	重点目標 生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備 ①(仮)第2次上田市スポーツ振興計画の検討 (1)上田市スポーツ推進審議会への諮問 (2)同審議会での検討 ②スポーツ施設整備の推進 (1)上田市スポーツ施設整備計画に基づく施設整備 ③生涯スポーツ振興、競技力向上、人材育成とスポーツを支える地域づくり (1)魅力あるスポーツイベントとスポーツに触れる機会の充実 (2)ラグビー普及啓発事業の実施 (3)総合型地域スポーツクラブの育成促進 (4)競技力の向上	達成状況・達成度 ① (1)スポーツ推進審議委員(10名、任期2年)の委嘱と諮問 (2)審議会会議開催5回、勉強会2回(会議内にて)開催 ② (1)自然運動公園総合体育館設計実施。審議会へ新テニスコート整備の諮問と答申、構想策定 ③ (1)各種大会19回開催、「みる」スポーツリーグ開催支援 (2)ラグビー体験会と指導者講習を計34回開催 (3)総合型地域SC連携事業14回開催 (4)全国大会等奨励金交付	重点目標 生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備 ①第二次上田市スポーツ推進計画の策定 (1)上田市スポーツ推進審議会での検討 (2)アンケートやパブリックコメント等による市民・関係団体からの意見聴取 ②上田市スポーツ施設整備計画に基づく施設整備 (1)自然運動公園総合体育館の耐震化・大規模改修工事の実施 (2)新テニスコート整備基本構想に基づく整備着手 ③生涯スポーツ振興、競技力向上、人材育成とスポーツを支える地域づくり (1)魅力あるスポーツイベントとスポーツに触れる機会の充実 (2)競技力の向上 (3)総合型地域スポーツクラブとの連携	期限・数値目標等 ① (1)審議会会議での計画検討(5回) (2)市民アンケート、パブリックコメント等実施 ② (1)関係各課との連携による整備推進 (2)整備財源確保に向けた調査実施 ③ (1)各種大会(20回)、夢を伝える事業(7校)地域連携による「みる」スポーツ支援(随時) (2)全国大会等奨励金交付 (3)総合型地域スポーツクラブ連携事業(10回)